

要求にこだわり単価(賃金)引き上げを 28日に全員で職場集会、要求実現まで引き続き頑張 ることを確認、「組合で要求を出して交渉したからこそ 一定の前進もあった」ことを確認。

広島のだんぷ労働者の新聞

だんぷ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
広島だんぷ支部
〒七三〇-〇八五三
広島市中区堺町一丁目二九一三〇三
TEL (〇八二) 二三五-三〇五二
FAX (〇八二) 二三五-三〇五二
MAIL ctg@hiroshima.email.ne.jp



ダンプ労働者の賃上げ交渉はまだこれからです。(単価の改善を求めて実施した2010年のダンプデモ)

一五日の交渉での内容(到達点)は①単価引き上げは努力するが、いままぐ4万円は無理。常用単価は四月の分から引き上げる。②材料運搬の単価の記載については前向きに検討する。③団体交渉の時間は仕事の終了後にして

も良い。などを確認しました。全員集会では、山田事務局長が一五日の団体交渉の内容について報告するとともに、岩男執行委員、住吉分会代表がその後の会社と確認したことについて報告し、話し合いました

呉の広伸建設で働く仲間は3月末に提出した要求書にもとづく会社との団体交渉を五月一五日に行いましたが、分会では五月二八日(水)に全員が参加して、交渉の報告を詳しく聞き、その上で今後のたたかいについても意思統一しました。

全員集会で交渉内容(到達点)を確認

車持ち労働者として要求

今回のようにダンプ持ち労働者が要求書を出し、会社と交渉を持ったのは(広島では)初めての事です。

しかし、会社からは文句は出ませんでした。それは会社は専属ダンプの全員が建交労広島だんぷ支部の組合員であることを知っていたからでもあります。何と云っても厳しい状況で要求に「正当性」があることが明確だったからだと思えます。

議論の中では、「組合で要求を出し話し合ったからこそ、要求の一定の前進があったと思う。」「我々だけが引上げられても、まわりのダンプの単価が引き上げられないとすぐ崩されてしまう。広げてゆかなければだめ。」「あくまで四万円にこだわり引き続き交渉を続けてゆこう。」などの意見が出されました。これをうけて、団結を崩さず、引き続き交渉を続けて、要求を前進させることを参加者全員で確認しました。

キャラバンへの参加を

広島のだんぷキャラバンは、七月一日〜二日にかけて実施する予定です。ぜひ現場からの積極的な参加を要請します。

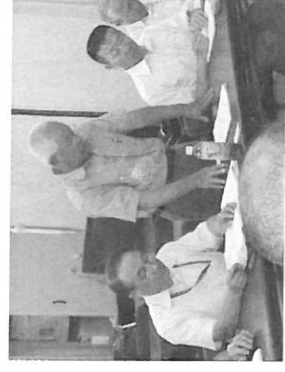
昨年四月と今年二月にダンプの積算単価の基本になる「労務費単価」がかなり引き上げられました。また今年四月には消費税が5%から8%に引上げられ、燃料代の高騰はとどまる所を知らないくらい

の状況です。しかし、末端のだんぷ持ち労働者の受け取る単価はまったく上がっていないのが現状です。この状況を少しでも改善してゆくことが重要です。

今年二回目です。

毎年六〜七月は全国だんぷ部会のだんぷキャラバンを全国的に実施します。

だんぷキャラバンは



だんぷキャラバンについて説明する高見副議長ら参加者(2011年のキャラバンにて)

徒然草
■先日いやな夢を見た。これほど記憶に残ることは珍しい。安倍首相がテレビで何やらしゃべっていたが、突然ギターをかかえて生中継で知らない歌を歌い出したのである。これも支持率アップを狙って演出された。・すぐに気分が悪くなり目が覚めた。■その翌日安倍首相は、自分の「お友達」を中心に構成している「安保法制懇」に「集团的自衛権の行使容認」つまり憲法を改正せずに時の内閣の判断で、最高法規である「憲法9条」の解釈を一八〇度変え、「武力行使できる」という「報告」を出させ、それを内閣で決めようと言うのである。自分で仕組んでおいて分かっている結論を出させる、これを「自作自演」というがまさにそれをやつのけたのである。■安倍首相は民意に反することをやつても内閣支持率が下がらないようにNHKにも榊井(もみい)会長はじめ自分の応援団を送り込んでいる。首相官邸では毎週新聞やテレビの報道をつぶさにチェックする会議もひらいているとのこと。■首相は大新聞やテレビで名前の知れた幹部を度重なる会食に呼び、あれ?と思うバラエティー番組にも出演して親近感があることを演出もしている。相当大掛かりにマスコミ対策をしている。(M)



写真がなくて大チョンボ！写真は昨年の第9回総会です。ごめんなさい！(2013年5月26日・広島市)

企業組合結成の原点大切に

「運営規則」をみんなで守り発展させよう！

第10回通常総会に二六人が参加

初めて福山市で開催

エバー運輸企業組合の第10回通常総会が五月二十五日(日)はじめて福山市で開催されました。

総会には、地元福山の組合員や呉、広島などから二六人が参加しました。

総会議長に坂井昇理事を選出、山田代表理事は主催者挨拶で、①企業組合結成の原点(一日でも長くダンプの仕事が続けたいという共通の要求にもとづいて立ち上げたこと)を忘れないこと、②総会を軽視しない、運営規則にもとづく運営を徹底すること。③定例会の内容改善などについて提案、総会終了後の理事会や定例会で話し合い具体化することを呼びかけました。

河井正晴幹事が、経過報告、決算報

告、会計監査報告、新年度事業計画と予算案を提案、その中で「重大事故で車両運行停止処分」が出た場合の「事故補償」について「全体の合意をつくる必要がある」とことを提案、参加者からも「それは急いで具体化してもらいたい」との強い要望が出されました。

田中理事に交代

役員の改選は来期ですが、宮成理事(福山)より辞職願いが出されたため新たに福山から田中竜一氏を理事に選出することが高見理事から提案され満場の拍手で確認され、最後に関元理事が閉会あいさつを行ないました。

来年の総会は呉で開催

正午過ぎから参加者でなごやかに「懇親会」を開催、マイクを回して全員が自己紹介も行ないました。関元武士理事(呉営業所)から「来年は呉で開催します」とアピールがあり、参加者が賛同の拍手を送りました。(場所は未定)

「とても内容のある総会だった」との感想も出されました。

気をつけよう！重大事故はいつでもどこでも潜んでいます。

暑くなると「ヒヤリハット！」も増えます

今月下旬、重大事故となりかねないダンプとバイクとの接触事故が発生しました。青信号を直進していたダンプが交差点にさしかかろうとした時、対向車線を走行していたバイクが突然交差点を右折しはじめたためダンプは急ブレーキを踏みましたが、間に合わずバイクとバンパー部分が接触、バイクの運転手がダンプの下にもぐる形になり、「あわや重大事故」と瞬間思われましたが、命にかかわる重大事故とはなりませんでした。「もらい事故」ともいえる事故です。事故が多くなる季節です。十分睡眠をとりスピードは控えめに安全運転を心がけましょう。

第三〇回記念大会を増勢で迎えるために秋の組合員拡大月間(九、十月)

での奮闘を呼びかけます。

広島ダンプ支部は、今年結成三〇周年となります。何としても組合員を増やして一〇月開催の三〇周年大会を迎えたいと考えます。そのため「秋の拡大月間」は一ヶ月前倒しで取り組み、大会を成功させたいと考えます。対象者の紹介、拡大にご奮闘、ご協力をよろしくお願い致します。

建交労広島ダンプ支部議長 小林豊教

組合行動予定表

- 五・三〇 労働法制改悪反対宣伝行動
- 五・三一 ダンプ支部執行委員会
- 六・四 建交労広島原本部執行委員会
- 六・六 県労連幹事会
- 六・一一 エバー運輸企業組合理事会
- 六・一四 介護問題・学習交流会
- 六・一四 社会保障協議会総会
- 六・二一 県労連評議員会
- 六・二一 企業組合福山定例会
- 六・二四 マツダ派遣切り裁判支援行動
- 六・二八 ダンプ支部執行委員会
- 七・一 第二一回ダンプキャラバン(〜二日)
- 七・四 県労連幹事会
- 七・一〇 建交労中央執行委員会(〜二日)
- 七・一二 企業組合呉定例会
- 七・一四 事業団キャラバン(〜一七日)
- 七・一六 エスイーイー物流裁判(福山裁判所)
- 七・一九 企業組合広島定例会
- 七・二〇 さよなら島根原発大集会(松江)
- 七・二六 ダンプ支部執行委員会
- 八・一六 企業組合福山定例会
- 八・二三 ダンプ支部執行委員会
- 八・三〇 建交労第一六回定期大会(〜9/1)
- 十・二六 広島ダンプ支部三〇回定期大会

小林議長はいつたん退院し、現在、家で療養中ですが、来月はじめに入院し手術する日程も決まっているとのこととです。(本人より)